

令和3年度

北しりべし廃棄物処理広域連合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

北しりべし廃棄物処理広域連合
監査委員

目 次

第1 審査の概要	1
1 審査の種類	1
2 審査の対象	1
3 審査の着眼点	1
4 審査の実施内容	1
第2 審査の結果	1
第3 決算の概要	1
1 決算収支	2
2 歳入	3
3 歳出	4
4 財源内訳	5
5 性質別経費	5
6 債務負担行為	5
第4 資金収支の状況	6
第5 財産の状況	6
第6 ごみ処理の状況	7
第7 意見	7

【注】

- 文中及び表中の金額又は数値は、表示単位未満の金額又は数値を四捨五入しています。
そのため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
また、「収入率」及び「執行率」が99.95%以上100%未満の場合は「99.9%」と、「収入率」が100%超100.05%未満の場合は「100.1%」とそれぞれ表示しています。
- 文中及び表中の符号等の用法は、次のとおりです。
「 - 」・・・該当する数値がない又は増減がないもの
「0」、「0.0」・・・該当する数値はあるが表示単位未満のもの
「△」・・・減少
「ポイント」・・・百分率（%）で表された二つ以上の数値の差
「皆増」・・・前年度に該当する数値がなく、比率を算出できないもの
「皆減」・・・本年度に該当する数値がなく、比率を算出できないもの

令和3年度 北しりべし廃棄物処理広域連合 一般会計歳入歳出決算審査意見書

令和3年度北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出に係る決算審査の実施結果について、以下のとおり意見を付します。

なお、審査の実施に当たっては、北しりべし廃棄物処理広域連合監査基準（令和2年北しりべし廃棄物処理広域連合監査委員告示第2号）に準拠しました。

第1 審査の概要

1 審査の種類 決算審査

2 審査の対象 令和3年度 北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

広域連合長から提出された一般会計歳入歳出決算書その他の書類について、関係法令に従い適正に処理されているか、また、各計数が正確であることを着眼点としました。

4 審査の実施内容

(1) 審査に付された書類（地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項に基づくもの）

- ① 令和3年度 一般会計歳入歳出決算書
- ② 令和3年度 一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- ③ 令和3年度 実質収支に関する調書
- ④ 令和3年度 財産に関する調書

(2) 審査の方法

前記書類の検証を行いました。また、例月出納検査における支出調書類の検査の結果を参考としたほか、必要に応じ関係部署に説明を求め審査を実施しました。

(3) 審査の期間 令和4年7月6日 ～ 令和4年9月22日

第2 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書その他の書類は、関係法令の定めるところに従って作成され、各計数は関係帳簿、証書類と符合し、正確であると認められました。

第3 決算の概要

決算の概要は、次のとおりです。

1 決算収支

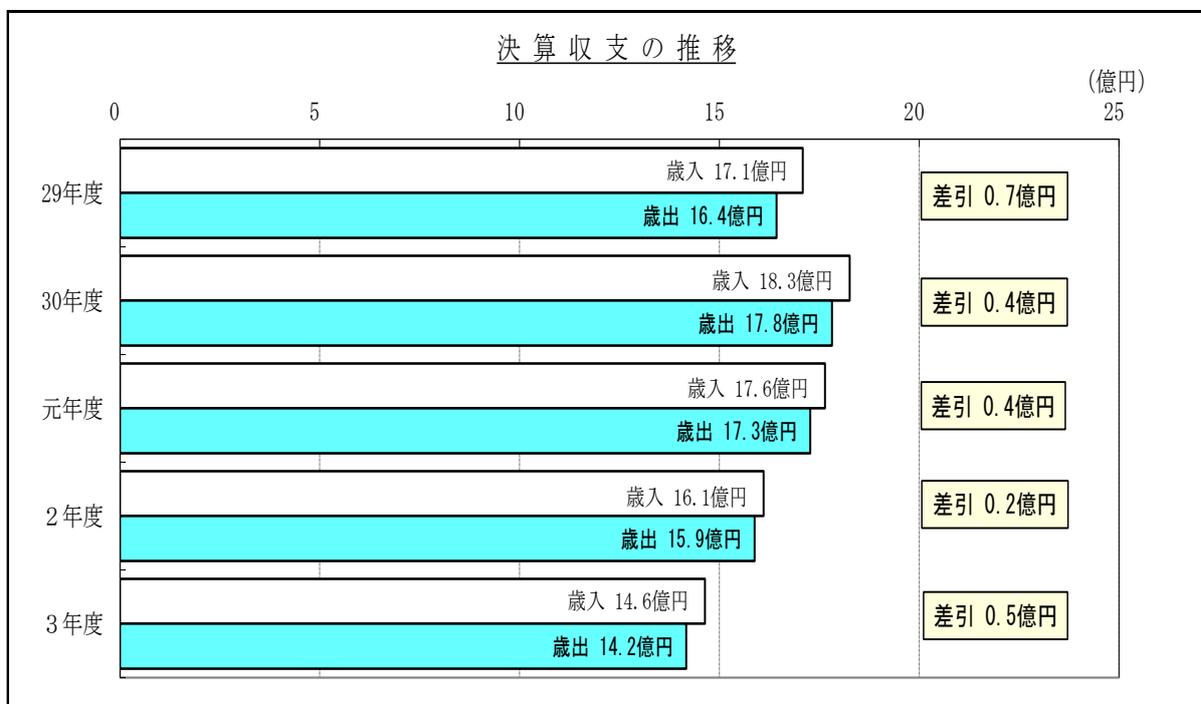
決算収支の状況は、次のとおりです。

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較 増 減	
			金 額	比 率
	円	円	円	%
歳 入 決 算 額 (A)	1,463,765,379	1,610,478,627	△146,713,248	△9.1
歳 出 決 算 額 (B)	1,417,180,298	1,587,836,588	△170,656,290	△10.7
歳 入 歳 出 差 引 額 (C=A-B) (形 式 収 支)	46,585,081	22,642,039	23,943,042	105.7
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	-	-	-	-
実 質 収 支 (E=C-D)	46,585,081	22,642,039	23,943,042	105.7
前 年 度 実 質 収 支 (F)	22,642,039	36,679,842	△14,037,803	△38.3
単 年 度 収 支 (E-F)	23,943,042	△14,037,803	37,980,845	△270.6

本年度は歳入1,463,765千円に対し、歳出は1,417,180千円となり、差引き（形式収支）46,585千円の剰余金を生じ決算を了しました。また、実質収支は翌年度へ繰り越すべき財源がなかったことから形式収支と同額となり、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、23,943千円の黒字となりました。

歳入歳出差引額を前年度と比較すると、歳出の減少額170,656千円が歳入の減少額146,713千円を上回ったことから、23,943千円（105.7%）増加しました。

決算収支の推移は、次のとおりです。



決算収支の推移を見ると、歳入額及び歳出額は、いずれもおおむね減少傾向にあり、本年度は前年度に引き続き減少となりました。

2 歳 入

歳入決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
分 担 金 及 び 負 担 金	1,232,150,000	1,232,150,000	1,232,150,000	100.0	100.0	△113,605,000	△8.4
使 用 料 及 び 手 数 料	124,499,000	133,825,655	133,825,655	107.5	100.0	3,718,288	2.9
繰 越 金	22,643,000	22,642,039	22,642,039	99.9	100.0	△14,037,803	△38.3
諸 収 入	50,538,000	75,147,685	75,147,685	148.7	100.0	△2,788,733	△3.6
繰 入 金	-	-	-	-	-	△20,000,000	皆減
計	1,429,830,000	1,463,765,379	1,463,765,379	102.4	100.0	△146,713,248	△9.1

収入済額を予算現額と比較すると、収入率は102.4%となりました。また、収入済額を前年度と比較すると146,713千円（9.1%）減少しました。

分担金及び負担金は、関係市町村からの負担金で、収入済額を前年度と比較すると113,605千円（8.4%）減少しました。これは主に、公債費の負担分が減少したためです。

なお、市町村別負担金の推移は、次のとおりです。

区 分	3年度	2年度	比較増減		元年度	30年度	29年度
			金額	比率			
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
小 樽 市	1,069,060	1,171,274	△102,214	△8.7	1,291,959	1,312,477	1,224,613
積 丹 町	12,974	14,626	△1,652	△11.3	15,938	15,634	14,914
古 平 町	18,764	20,555	△1,791	△8.7	22,965	22,780	21,838
仁 木 町	15,034	14,856	178	1.2	15,475	15,433	14,119
余 市 町	110,385	117,502	△7,117	△6.1	128,498	129,183	119,639
赤 井 川 村	5,933	6,942	△1,009	△14.5	7,595	7,459	7,064
計	1,232,150	1,345,755	△113,605	△8.4	1,482,430	1,502,966	1,402,187

使用料及び手数料の内訳は、次のとおりです。

目・節	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
衛 生 使 用 料	90,000	90,000	90,000	100.0	100.0	-	-
ごみ処理施設使用料	90,000	90,000	90,000	100.0	100.0	-	-
衛 生 手 数 料	124,409,000	133,735,655	133,735,655	107.5	100.0	3,718,288	2.9
ごみ焼却処理手数料	113,600,000	121,698,575	121,698,575	107.1	100.0	2,261,944	1.9
粗大ごみ処理手数料	10,560,000	11,770,080	11,770,080	111.5	100.0	1,211,344	11.5
搬入許可等手数料	249,000	267,000	267,000	107.2	100.0	245,000	1,113.6
計	124,499,000	133,825,655	133,825,655	107.5	100.0	3,718,288	2.9

繰越金は、前年度繰越金で、収入済額を前年度と比較すると14,038千円（38.3%）減少しました。

諸収入は、鉄くず等売払収入、余剰電力売払収入等で、前年度と比較すると2,789千円（3.6%）減少しました。これは主に、鉄くず等売払収入で5,449千円増加しましたが、余剰電力売払収入で8,236千円減少したためです。

繰入金は、運営資金基金繰入金で、前年度と比較すると20,000千円皆減しました。

3 歳 出

歳出決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
議 会 費	770,000	263,535	34.2	506,465	16,180	6.5
総 務 費	84,277,000	83,275,856	98.8	1,001,144	△17,126,827	△17.1
衛 生 費	1,144,146,000	1,133,784,841	99.1	10,361,159	31,679,942	2.9
公 債 費	199,857,000	199,856,066	99.9	934	△185,225,585	△48.1
予 備 費	780,000	-	-	780,000	-	-
計	1,429,830,000	1,417,180,298	99.1	12,649,702	△170,656,290	△10.7

支出済額を予算現額と比較すると12,650千円の不用額を生じました。また、支出済額を前年度と比較すると170,656千円（10.7%）減少しました。

議会費は、議員報酬、会議録作成委託料等で、予算現額に対し34.2%の執行率となり、不用額は506千円となりました。また、支出済額を前年度と比較すると16千円（6.5%）増加しました。

総務費の項別決算の状況は、次のとおりです。

項	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
総 務 管 理 費	83,942,000	83,006,496	98.9	935,504	△17,130,127	△17.1
選 挙 費	111,000	94,280	84.9	16,720	△15,240	△13.9
監 査 委 員 費	224,000	175,080	78.2	48,920	18,540	11.8
計	84,277,000	83,275,856	98.8	1,001,144	△17,126,827	△17.1

総務費は、予算現額に対し98.8%の執行率となり、不用額は1,001千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると17,127千円（17.1%）減少しました。これは主に、総務管理費の委託料で3,611千円、積立金で14,038千円それぞれ減少したためです。

衛生費（施設管理運営費）の目別決算の状況は、次のとおりです。

目	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
ごみ焼却施設管理運営費	708,293,271	700,442,681	98.9	7,850,590	16,594,460	2.4
リサイクルプラザ管理運営費	407,275,411	405,662,805	99.6	1,612,606	15,385,026	3.9
北後志リサイクルセンター 管 理 運 営 費	28,577,318	27,679,355	96.9	897,963	△299,544	△1.1
計	1,144,146,000	1,133,784,841	99.1	10,361,159	31,679,942	2.9

衛生費は、予算現額に対し99.1%の執行率となり、不用額は10,361千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると31,680千円（2.9%）増加しました。これは主に、ごみ焼却施設管理運営費の委託料で12,120千円、リサイクルプラザ管理運営費の委託料で19,470千円それぞれ増加したためです。

公債費の支出済額の内訳は、元金197,336千円、利子2,520千円で、前年度と比較すると元金で180,122千円、利子で5,103千円それぞれ減少しました。

4 財源内訳

科目別の財源内訳は、次のとおりです。

科 目	歳出決算額	充 当 財 源					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		使用料及び 手数料	諸 収 入	計	金 額	歳出決算額 に対する割合	
	円	円	円	円	%		
議 会 費	263,535	-	-	-	263,535	100.0	
総 務 費	83,275,856	-	4,632	4,632	83,271,224	99.9	
衛 生 費	1,133,784,841	133,825,655	75,143,043	208,968,698	924,816,143	81.6	
ごみ焼却施設管理運営費	700,442,681	121,897,575	56,383,740	178,281,315	522,161,366	74.5	
リサイクルプラザ管理運営費	405,662,805	11,928,080	14,143,930	26,072,010	379,590,795	93.6	
北後志リサイクルセンター管理運営費	27,679,355	-	4,615,373	4,615,373	23,063,982	83.3	
公 債 費	199,856,066	-	-	-	199,856,066	100.0	
計	1,417,180,298	133,825,655	75,147,675	208,973,330	1,208,206,968	85.3	
前年度計	1,587,836,588	130,107,367	77,936,408	208,043,775	1,379,792,813	86.9	
比 較 増 減	金 額	△170,656,290	3,718,288	△2,788,733	929,555	△171,585,845	ポイント △1.6
	比 率 (%)	△10.7	2.9	△3.6	0.4	△12.4	

科目別の財源内訳を前年度と比較すると、特定財源で930千円（0.4%）増加し、一般財源で171,586千円（12.4%）減少しました。

なお、本年度の歳出決算額に対する一般財源の割合は85.3%で、前年度と比較すると1.6ポイント低下しました。

5 性質別経費

性質別経費の推移は、次のとおりです。

区 分	3年度	2年度	比 較 増 減		元年度	30年度	29年度
			金 額	比 率			
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
人 件 費	100,921	100,817	104	0.1	99,700	98,204	97,479
物 件 費	1,080,490	1,052,230	28,259	2.7	1,093,376	1,127,756	1,012,610
維 持 補 修 費	349	-	349	皆増	-	453	71
扶 助 費	710	740	△30	△4.1	820	720	755
補 助 費 等	12,213	12,288	△75	△0.6	12,170	11,901	12,057
公 債 費	199,856	385,082	△185,226	△48.1	477,290	477,290	477,290
積 立 金	22,642	36,680	△14,038	△38.3	44,027	65,578	42,982
計	1,417,180	1,587,837	△170,656	△10.7	1,727,383	1,781,902	1,643,244

6 債務負担行為

債務負担行為の状況は、次のとおりです。

事 項	限 度 額	前年度までの支出額		本 年 度 支 出 額	翌年度以降の 支 出 予 定 額	
		期 間	金 額		期 間	金 額
	千円		千円	千円	期 間	千円
第2期施設運営・ 維持管理業務委託料	15,620,000		-	-	令和4年度 ～ 令和18年度	15,594,700

本年度末における翌年度以降の支出予定額は15,594,700千円となっています。

第4 資金収支の状況

月別の資金収支の状況は、次のとおりです。

区 分	収 入		支 出		残 高		
	収 入 額	(運用額・ 一時借入金)	支 出 額	(運用等償還額)	月末収支残高	(運用等の残額)	
	円	円	円	円	円	円	
3年 4月	30,092,234	(-)	8,217,627	(-)	21,874,607	(-)	
5月	101,497,416	(-)	96,532,559	(-)	26,839,464	(-)	
6月	141,383,945	(-)	109,278,361	(-)	58,945,048	(-)	
7月	107,808,048	(-)	97,050,151	(-)	69,702,945	(-)	
8月	109,589,106	(-)	97,870,461	(-)	81,421,590	(-)	
9月	209,240,280	(-)	195,344,920	(-)	95,316,950	(-)	
10月	106,589,905	(-)	91,554,127	(-)	110,352,728	(-)	
11月	101,147,487	(-)	100,119,246	(-)	111,380,969	(-)	
12月	121,922,252	(-)	132,210,354	(-)	101,092,867	(-)	
4年 1月	107,162,057	(-)	105,677,633	(-)	102,577,291	(-)	
2月	109,892,828	(-)	95,369,073	(-)	117,101,046	(-)	
3月	202,682,412	(-)	194,829,089	(-)	124,954,369	(-)	
出納 整理 期間	4月	14,139,538	(-)	93,940,977	(-)	45,152,930	(-)
	5月	617,871	(-)	△814,280	(-)	46,585,081	(-)

(注) 括弧書きの数値は収入額、支出額、月末収支残高それぞれの内数です。

収入額の主なものは市町村負担金で、協定に基づき毎月納入されています。

また、支出額を月別で見ると、9月と3月は地方債の償還、12月は運営資金基金への積立のため、それぞれ支出額が大きくなっています。

なお、一時借入金は、予算で定めた最高額100,000千円に対し、借入れはありませんでした。

第5 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高	評価価格又は取得価格
公 有 財 産	土 地	㎡	㎡	㎡	千円
		52,826.00	-	52,826.00	101,962
	ごみ処理施設敷地	52,826.00	-	52,826.00	101,962
	建 物	27,806.79	-	27,806.79	7,072,353
	北しりべし広域クリーンセンター	27,140.14	-	27,140.14	6,928,478
	搬入用計量棟	182.87	-	182.87	67,241
	搬出用計量棟	77.90	-	77.90	30,767
	スラッグストックヤード棟	123.12	-	123.12	31,428
	北後志リサイクルセンター	198.92	-	198.92	14,439
北後志リサイクルセンターびん等保管棟	83.84	-	83.84		
基 金	円	円	円		
運営資金基金	384,061,454	22,642,039	406,703,493		

本年度は、公有財産（土地及び建物）の増減はありませんでしたが、基金（運営資金基金）は22,642千円増加しました。

第6 ごみ処理の状況

北しりべし広域クリーンセンター（ごみ焼却施設・リサイクルプラザ）及び北後志リサイクルセンターのごみ処理状況の推移は、次のとおりです。

名 称		種 類		3年度	2年度	比較増減		元年度	30年度	29年度
				ト	ト	ト	%	ト	ト	ト
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	可燃ごみ	搬入量	35,609.57	35,900.69	△291.12	△0.8	37,973.99	38,482.58	39,667.93
			リサイクルプラザ	不燃ごみ	搬入量	4,920.15	4,875.96	44.19	0.9	4,876.17
	リサイクルプラザ	粗大ごみ	資源化量	295.87	312.73	△16.86	△5.4	307.14	323.14	314.21
			資源物	搬入量	3,259.35	3,321.15	△61.80	△1.9	3,325.66	3,318.94
		資源物	資源化量	2,897.31	2,905.43	△8.12	△0.3	2,830.03	2,877.15	2,868.74
			北後志リサイクルセンター	資源物	搬入量	1,028.82	1,039.54	△10.72	△1.0	1,102.25
北後志リサイクルセンター	資源物	資源化量	1,006.11	1,012.90	△6.79	△0.7	1,084.93	1,128.59	1,184.33	

市町村別のごみ搬入量は、次のとおりです。

名 称		小樽市	積丹町	古平町	仁木町	余市町	赤井川村	計	
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	本年度(ト)	29,847.66	392.53	619.62	569.73	4,013.97	166.06	35,609.57
		前年度(ト)	30,189.19	407.80	646.39	572.17	3,924.61	160.53	35,900.69
		比較増減(%)	△1.13	△3.74	△4.14	△0.43	2.28	3.44	△0.81
	リサイクルプラザ	本年度(ト)	8,085.26	6.90	9.44	12.33	60.71	4.86	8,179.50
		前年度(ト)	8,099.78	7.24	9.61	12.95	62.77	4.76	8,197.11
		比較増減(%)	△0.18	△4.70	△1.77	△4.79	△3.28	2.10	△0.21
北後志リサイクルセンター	本年度(ト)		73.58	86.27	87.49	743.18	38.30	1,028.82	
	前年度(ト)		72.75	85.13	89.19	754.27	38.21	1,039.54	
	比較増減(%)		1.14	1.34	△1.90	△1.47	0.24	△1.03	
計	本年度(ト)	37,932.92	473.01	715.33	669.55	4,817.86	209.22	44,817.89	
	前年度(ト)	38,288.97	487.79	741.13	674.31	4,741.65	203.50	45,137.34	
	比較増減(%)	△0.93	△3.03	△3.48	△0.71	1.61	2.81	△0.71	

第7 意 見

決算の概要は前述のとおりですが、区域内人口の減少等の影響により、全体的にごみの搬入量が減少傾向にある中、事業系一般廃棄物の搬入量が増加していることから、コロナ禍における経済活動の冷え込み等の影響が一定程度回復してきていると思われます。結果として、本年度の決算においては、特定財源のうち、ごみ焼却処理手数料などの手数料や余剰電力売払収入などの諸収入について、予算額との比較では増加したものの、特定財源の全体では前年度と比べてほぼ同額となりました。

各施設の管理運営に当たっては、事業期間を令和4年度から令和18年度までとする新たな施設運営・維持管理業務委託の契約を締結されたところではありますが、今後ごみの搬入量の減少が見込まれ、処理手数料などの財源確保は難しくなるものと思料いたしますので、引き続き関係市町村と連携を図りながら、令和元年度に策定した「ごみ焼却施設並びにリサイクルプラザの長寿命化総合計画」に基づき、施設の基幹的設備や機器更新等の整備などを着実に実施されるとともに、効率的な財政運営に努められ、北後志地域における一般廃棄物の適正かつ安全な処理を維持されることを期待いたします。